

シルバー やまがた

第157号 令和7年1月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,260名 賛助会員 27個人・60団体(11月末現在)



折紙「鶴と亀・くす玉」(南山形・本沢地区 塩野美智子さん 作品)

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|-------------------------------|------|-----------------------|
| P2 | 新年のご挨拶 (山形市長)
新年を迎えて (理事長) | P5 | わが街通信 |
| P3 | 安全就業推進大会
山形市長・山形市議会議長へ要望 | P6~7 | 会員のひろば |
| P4 | 令和七年 年男・年女の方から
事業普及啓発活動を実施 | P8 | 文化祭出展作品から |
| | | P9 | 人あり・技あり・心あり
新入会員紹介 |
| | | P10 | 事務局だより |



新年のご挨拶

山形市長 佐藤 孝弘

新年、明けましておめでとうございませう。

公益社団法人山形市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、会員の皆様方の豊富な知識や経験・技能等を活かし、就業やボランティア活動など多岐にわたる事業を展開され、地域の活性化と高齢者の社会参加に多大なるご貢献をいただいておりますことに、心より御礼を申し上げます。

さて、人生一〇〇年時代を迎える昨今、山形市におきましても、今年は一四四名の方が一〇〇歳を迎えられる見込みです。その一方で、少子化も進んでおり、社会構造が大きく変化しております。こうした中で、将来にわたり活力ある地域社会を維持していくためには、高齢者の方々が健康で地域社会を支える力となり、活躍できる地域づくりが求められております。山形市では、「健康医療先進都市」「文化創造都市」の二大ビジョンのもと、誰もが健康で心豊かに暮らせる持続可能なまちを目指し、各般の施策に取り組みしております。そのなかでも、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ることができ、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、支え合いながら安心して暮らしていくことのできる「地域共生社会の実現」を重点施策として位置づけているところであります。

こうした施策を着実に推進していくためには、高齢者の方々が活躍できる機会を提供する貴センターの果たす役割は大変重要であり、引き続き、本市の施策推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「巳年」です。再生や変化を繰り返しながら物事が柔軟に発展していく年になりますよう、そして公益社団法人山形市シルバー人材センターがますます発展され、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年を迎えて

理事長 斎藤 武弘

謹んで新春のお祝いを申し上げます。会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

旧年中はセンター事業に格別のご理解とご協力を頂きましたことに、厚くお礼申し上げます。

昨年六月の定時総会での理事長就任以降、会員・役員の皆様とともに会員募集活動や清掃奉仕活動、安全講習会、ブロック研修会等を企画、実施し、世話役会や理事・地区班長との意見交換会では多くのご意見をいただき事業を推進してまいりました。最大の目標であります「会員拡大」に関してはコロナ禍から回復途上ではありますが、今後も皆様と協力して事業への取り組みを進めてまいります。

社会全体としても、観光需要の回復などを受けて経済活動がコロナ禍から持ち直しているものの、不透明さを増す国際情勢をはじめとして先を見通すことが困難な状況であります。

シルバー人材センターを取り巻く社会的、経済的環境も大きく変化しており、人口構成の変化はもとより高齢者の就労確保をはじめ

めとする就労環境の変化やインボイス制度へのさらなる対応、昨年十一月施行のフリーランス法に関連した契約方法の見直し、改正公益認定法に即した財政運営の柔軟化やガバナンスの充実など課題が山積しております。

センターでは、令和二年策定の中期事業計画に基づき鋭意事業に取り組みでまいりましたが、その成果を検証し、社会的、経済的環境の変化を踏まえてさらに発展・充実させるため、現在、新たな中期事業計画の策定を進めております。

今年の干支は「乙巳（きのこのみ）」、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるとも言われております。脱皮し強く成長する蛇の姿に倣い、当センターも社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、地域社会にとって常に必要とされる存在であり続けるよう事業と運営を進めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

山形県シルバー人材センター連合会
令和六年度安全就業推進大会

安全就業推進委員長 高橋 眞一

去る十月九日、山形県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業推進大会」がビッグウイングで開催されました。

安全就業優良シルバー人材センターとして、県内二か所のSCが表彰されました。この賞は、安全就業の取り組み状況や事故ゼロを達成していることから贈られた賞であります。当センターは、今年度十月まで事故が四件発生しております。今後、冬期間に入り転倒事故等が発生しないように、会員の皆様には細心の注意をお願いいたします。次に、安全就業に関する標語の入選発表があり、当センターから一名が表彰されました。

佳作賞

気を抜くな ゆるむ心に

第五地区 阿部 宜久
ひそむ事故

引き続き、山形県警察本部交通部企画課重大事故対策室長の守谷美雪氏より、「高齢者の交通安全について」と題して講演がありました。

○交通事故の発生状況

- ① 高齢ドライバーの事故が年々増加
- ② 令和6年県内で高齢ドライバーによる死亡事故が多発

○高齢ドライバーの方へのお願い

- ① 危険を回避するの行動をとることが困難
- ② 危険の発見および回避が遅れがち
 - ・決して無理な運転をしない
 - ・徹底して交通ルールを守る
 - ・体調が悪い時には運転しない

○自転車乗車時のヘルメット着用

- ① 令和5年4月1日から努力義務化になった
- ② 死者の五割が頭部の致命傷
- ③ 高齢者と高校生を着用率が低い
 - ・自分には事故は起こらないと他人事として考えないで、自分の命を守るため着用してもらいたい

大変参考になる話を聞き、日頃から何事にも十分に注意し、絶対に事故を起こさない、事故に遭わないように、いつまでも健康で生活できればと再認識しました。

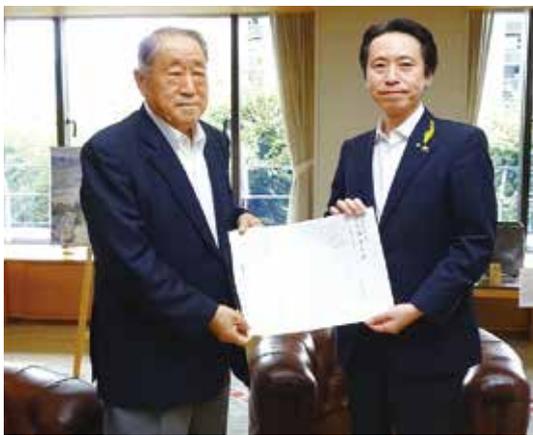
最後に「安全就業宣言」として、安全は全てに優先するとの基本理念を再確認し、事故ゼロに組織一丸となって取り組む事を宣言して大会を終了しました。

山形市長・山形市議会議長へ
要望活動を実施

全国のシルバー人材センターでは、全国シルバー人材センター事業協会の定時総会の決議に基づき、市町村等への要望活動を行っております。今年度の

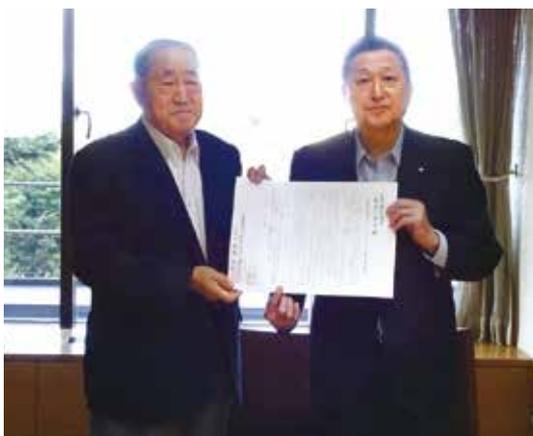
要望書は、補助金の確保やセンターに対する事業の発注、契約方法の見直しを見据えた契約事務における適切な対応を求める内容です。

当センターでは、九月二十七日に斎藤理事長、石川常務理事



(兼)事務局長が市役所を訪問し、佐藤孝弘市長と長谷川孝司市議会議長へ要望書を手渡し、要請を行いました。

当日は全シ協決議文に基づく要請の他、当センター独自の課題である女性会員の拡大、就業先の確保について説明し、子育て支援施設（放課後児童クラブ等）への就業開拓についても協力をお願いしました。





令和七年 年男・年女



令和七年、今年巳年です。今年の年男・年女の会員さんから抱負などをお聞きしました。

【質問内容】 ① 今年の抱負 ② 生きがいにしていること ③ 健康のために気を付けていること

南沼原地区 升谷 光悦 (辛巳)



- ① 昭和も100年。人生100年時代は道半ば、今日から出発。
- ② 家内と旅行、家庭菜園作り、週1回ゴルフ大会参加
- ③ 30種類を育てる家庭菜園で獲れた黒ニンニクを食べ健康

第10地区 加藤三枝子 (辛巳)



- ① 春に山菜取り、秋には栗拾いに行きたい。
- ② 年に2・3回庄内に釣りに行くのが楽しみです。
- ③ 週2回ですが、仕事に行くことが健康につながっています。

第10地区 坂野 恵子 (癸巳)



- ① 健康に気を付けて、笑顔で前向きに過ごすこと。
- ② 友達と旅行や映画鑑賞に行くこと、二匹の猫が癒しです。
- ③ 早寝早起き、季節の旬を食べるようにしています。

南山形・本沢地区 志田 省三 (癸巳)



- ① 今年も健康第一で、働く喜びを！
- ② 習字で毎日展に入選したい！
- ③ 東根さくらんぼマラソン(ハーフ)で完走！

事業普及啓発活動を実施

広報部会長 齋藤 英夫

十月のシルバー事業普及啓発促進月間に伴い、次の活動を実施しました。

・役員による街頭啓発活動の実施

十月二十九日(火)、イオン山形南店、山形北店で齋藤理事長はじめ各理事、各専門部会員、委員会会員、事務局職員等の総勢三十三名で実施しました。ご来店の高齢者を対象に事業のPRと、会員募集のチラシ約千枚を配布しました。

この街頭啓発活動により、大きなPRとなり今後の会員増加の一助として期待されます。

・会員による清掃活動

十月二十三日(水)、山形駅西地区の街路清掃活動を実施しました。六十八名の会員が四班に分かれ、歩道沿いの清掃活動を行いました。また、各地区研修会会場付近の清掃等にも是非参加してください。

・文化祭、バザー活動

十月二十日(日)～二十二日(火)、互助会主催文化祭・女

性部会の創作品、頒布会等でのPRやパネル展示による事業活動の紹介と会員募集を実施しました。(入場者数二二〇名)

・その他の活動

- ① 市役所市政記者クラブへの事業啓発活動内容についての情報提供
- ② 県シルバー人材センター連合会安全就業推進大会へ参加
- ③ 会員による一・一運動の推進



役員による街頭啓発活動 (イオン山形北店)

第七地区

奥山 仁

第七地区内には五堰のうち四つもの堰が流れています。

「山形五堰」とは、市内を東西に流れる五つの堰（農業用水路）のこと。始まりは江戸時代で、形を変えながら今なお流れ続けています。市の歴史的景観の一つで、令和五年「世界かんがい施設遺産」にも登録されました。中でも地表に現れていて分かりやすい「八ヶ郷堰」を紹介します。

奥羽本線を横切り地区内に入る堰はJA北山形支店南約一〇〇m（目印は白い欄干）から龍門寺南約五〇mを通過して下条五叉路方面へ。門前の旧町名標示柱によれば、昔はこの付近が幾条にも流れる川（現馬見ヶ崎川）に沿っていたところのようです。



籠門寺前の笹堰

そして堰は伝昌寺付近を流れ、左沢線をくぐって西得寺付近から一―二号線を横切っています。この間は石垣も多く見られ、江戸時代は武家地だったようでもあり、どことなく懐かしささえ感じさせてくれます。古い時代に思いを馳せながら、巡ってみてはいかがですか？

そういえば、この度私の家のすぐ近くを「宮町堰」が流れていることがわかりました。もしかしたら皆様の近くにも？（参考：城下町やまがた探検地図）

地域紹介 わが街通信

第八地区

武田 満

第八地区はあさひ町、小白川町一―五丁目、松波一―三丁目、緑町三―四丁目から成る。

東京での学生生活を終え、就職のために山形に来たのは一九六九（昭和四十四）年。結婚して最初に住んだのは小白川町のアパートだった。その後、家を建てたが、場所はなぜか小白川町。それも馬見ヶ崎川のそば。

秋になると、川原は芋煮会の真っ最中。三十年前前は場所が近いというだけで我が家に。狭い座敷に二十数人の酔客がよくも集まった。今では懐かしい思い出になっていく。

その背景にはいつも馬見ヶ崎川があった。わが小白川町はその扇頂部にあたる。今は静かな流れだが、かつては暴れ川で人々を苦しめた。一六二三年十月の大氾濫から昭和末までの三百七十年間に洪水が百五回も発



秋晴れの下、芋煮会の真っ最中

生。一九七〇年に蔵王ダムが完成、堤防決壊などの被害は解消された（武田伊和夫著「馬見ヶ崎川水の文化誌」参照）。

「芋煮会」は大正期には里山や埋立地で行われていたが、昭和十年代から馬見ヶ崎河川敷で行われ、四十年代から盛況になったと伝えられる。

「月みずきよらかにまみがさき♪」山形市立第八小学校の校歌が今にも聞こえてきそうだ。

〔寄稿〕



滝山一地区
本木 康晴

シルバー人材センター
との歩み

私は平成二十六年五月に入会し早十年になります。仕事も確か八月に決まり、それから、十年間順調に怪我もなく勤めてきました。就業先は山形市野草園です。野草園での就業内容は植物の管理業務です。何千種類といった植物があり、とつても覚えてたりません。そういった

自然の中で仕事ができ、幸せの十年間でした。それも昨年三月末で業務終了致しました。ありがとうございました。それがとうございました。それと並行して、通勤途中で土坂地区があり、その一部に畑を借り、趣味の園芸の野菜作りをし、大根、豆、芋、トマト、ナス等の全部で二十種類以上の野菜を作っています。ただ残念な事に、毎年獣との戦いもあり、中々うまく出来ないです。でも今年こそは諦めず再挑戦したいと思っております。その他私は、一昨年六月まで、総務部部長を務め、さらに、副理事長という分不相応の役職に就き、六年間執り行なってきました。但し、その内の三年間はコロナ禍にあたり、あらゆるすべての行事が実行できなくなり、残念で申し訳なく思っております。最近

また趣味が増え、週一回のカラオケ及び卓球の練習に明け暮れている、今日この頃です。

私のモチベーション



第二地区
江場佐登志

私は、自転車班に配属されて一年半になります。現役の時、長らく営業畑を経験し、「売上、売上、利益、利益」と、金々の毎日でした。口八丁、手八丁、あることないこと口から出まかせの典型的営業マンだったと思います。皆さん、達者な営業マンの言うことなど信じたら駄目です。いかにも尤もらしいことを言いますからね。

六十歳近くになって「退職」を意識し始めた頃に、自分の企業人生に漠然と疑問を感じ始めました。

「私は人様のお役に立っているのだろうか？」

自転車班は、市内より回収された自転車より持ち主に引き取られなかったものを補修して再

生販売する部隊です。

ところが近年、回収される自転車が減り、単独の事業としては成り立たなくなりました。

それで、夏の間、草刈りも業務として請け負うようになりました。昨年六月、私が配属された頃も、草刈りが真っ盛りで、自転車再生する気の私は面喰らったものです。

見様見真似で草刈りを始めた頃、流通センター野球場で作業を始めようとする時に、朝野球の方々が私たちのところに寄られて、

「いつも草刈りありがとうございます。お陰様で、毎日快く野球を楽しんでおります。」と、感謝の言葉を述べられたのです。

実はこのことで私はショックを受けたのです。

「あっ、俺は人様の役に立っている!!」



つながり



イワヤツデの花

多員の健康・趣味

嘘つきの営業マンが、もしかすると真人間になれるかもしれないと本気で喜んだのです。以来、人様を喜ばすことが私のモチベーションとなつて、仕事が楽しくなりました。

家庭菜園奮闘記



楯山地区
高橋 直樹

鍬など持ったことのない自分が我が家の狭い菜園を受け継いで、三年目となった。周りは農家も多い畑地もたくさんあ

るので、手本は事欠かない。作業の時期はそれらを見て判断することとした。しかし取り組んで初めて知ることが多いので、その都度右往左往の連続である。まずは生産量と消費量の判断ができない。葉物も果菜類も出来はじめは少量。間引いたものを食べているうちはいいが、成長するにつれ、数株で一食が済む。ほっとけば小松菜なんてとんでもない大きさになり、世間体が悪い。茄子もはじめは数本が、夏になるにつれ毎日収穫になる。キュウリも同時期、漬物お浸し惣菜お汁、すべてが我が家の自賄い。精進料理に近くなってきた。

益が明けて、白菜苗を買ってきて定植。二、三日で葉が穴だらけになった。鳥が食べたものと思ひ、糸を張ったり対策を講じるが、葉は食い荒らされ続け、どうしたものかと葉裏を見れば、カタツムリだった。それも相当の数が。防除法も知らないの、手で取り除くことにした。一週間経って何とか解決した。周囲のキュウリも茄子もトマトも、どうしてきれいに整然と

育っているのかなあ？我が家の作物はどうしてジャングルのように混んでくるのかなあ？整枝・摘芯、知らなかった。また、ネギは夏に枯れていく事も、大根はネズミに、種をまいた後は猫が歩いていく。止めようかとも思ったが、雑草対策や庭の手入れなど、新たな手間もかかる。本当に狭い家庭菜園で良かったと思う。

山形を旅するアサギマダラの渡り蝶との出会い



第二地区
太田ヒロ子

昨夏でシルバー人材センターにお世話になり、一年十ヶ月が過ぎようとしています。

不慣れな職場でも、周りの方々に助けていただきながら、充実して働いております。

実は、自宅は岩手県宮古市にあります。東日本大震災の津波の被災を受け大規模半壊、その時は、夫が東北一円の建設業に従事しており、姑共々仙台市

に居り、無事でした。夫は、山形県へ仕事で度々来ておりますが、家族と一緒の生活は、三、四十数年ぶりの二度目の山形市の生活です。山形市が「終の住処」になっていきます。山形県内、「医療体制が充実している」「近くに温泉がある」「食べ物おいしい」季節の野菜、果物を日々、楽しんでおります。毎秋の山形野草園での「アサギマダラ」との出会いは、人々を怖がらない蝶々なので写真にも撮られて、その感激を「やましん歌壇」へ一首投稿しました。歌人の大瀧保氏選で

ふあふわの薄紫の藤袴
共に踊りぬアサギマダラと

アサギマダラは、日本列島を北から南へ世代交代して、遠くは二千kmも飛んでいくそうです。あの蝶の小さな体の、何処にそんな力があるのでしょうか。今秋の再会が楽しみです。





誌上展覧会

～令和6年度文化祭出展作品の紹介～



毛筆百錬会「書」色紙
第10地区 武田 智恵子



毛筆百錬会「俳句」
第5地区 柿本 青史



絵画「奥会津の里」
第8地区 佐藤 善紀



写真「2人」
蔵王地区 今野 久子



写真「モネの夢」
賛助会員 和田 勝子



色彩魚拓「アユ」
蔵王地区 古澤 英雄



手芸「植物刺しゅう」
第4地区 佐久間あや子



パソコンクラブ「山形の史跡巡り」
南沼原地区 中嶋 寛



盆栽「風狂三題」
西地区 細谷 孝司

シルバーに
人あり 技あり
心あり

私の生きがい



南山形・本沢地区
塩野美智子

生活に追われ、忙しいながらも六十五歳の時退職し、始めたのが折り紙でした。近くに先生がいましたのでお願いに伺い、指導を受けることになりました。月に一度の教室ですが、第二の人生に華が咲きました。

折り紙は、どんな簡単なものでも指導を受けないと作品にならない箇所があり、頭を悩ませます。でも、完成した時の喜びは最高の感動です。この感動を皆さんにもお届けしたいと思い、毎年シルバーの文化祭に作品を展示させてもらっています。沢山の作品を教えてください、飾ることが出来る喜びに感謝しています。
女性部会の折り紙教室も、先

生の許可を得て開いています。「今度はいつするの?」といつも応援してくれます。施設で働いていた時は、利用者にくす玉を折ってもらいました。折り紙を通してお友達も沢山でき、素敵な出会いもありました。

去年は初孫の結婚式があり、ばあちゃんの作った折り紙の花笠を百個、出席者の皆様へプレゼントし、とても喜ばれました。それぞれ趣味は違っても、健康のため自分の生きがいとして楽しみながら、これからも折り紙を続けていきたいと思っています。

表紙の「鶴と亀は長寿を祝い、くす玉は邪気を払い良い年を迎えられますように」と願っての作品です。



新入会員紹介

第一地区	木村 悟	滝山一地区	小関 弘子
第二地区	清野 金一	滝山二地区	柴田 恵子
第三地区	佐藤 重孝	白石登美子	井上 辰雄
第四地区	武田 誠一	鎌田 肇	鈴木 真弓
第五地区	寒河江涼子	伊藤 正	出羽・明治地区
第六地区	有田 俊雄	山寺・高瀬地区	高橋 正光
第七地区	島貫 靖啓	楯山地区	堀 真志
第八地区	鈴木 和雄	蔵王地区	後藤 文子
第九地区	渡部 満弘	南山形・本沢地区	五十嵐武夫
第十地区	結城 孝一	南沼原地区	稲村 幸子
鈴川一地区	水戸部恵子	西部地区	小野 勝三
鈴川三地区	太田 治男		大木正四郎
飯塚・榎沢地区	佐藤 義則		中野 文子
東沢地区	川口 寿栄		玉木 芳昭
			武田 均
			白田 和正
			會田 善昭
			後藤 勤
			長澤 守
			長澤美代子
			加藤千代子
			阿部美佐子

事務局だより

(基)山形市シルバー人材センター
山形市双葉町一丁目二番二号
電話(〇三三)六四七-六六四七

配分金Ⅱ所得税法上の取扱い

シルバー人材センターでご紹介する仕事には「請負事業」と「派遣事業」の二種類があり、そのうち「請負」で仕事をして得た『配分金』は所得税法上「雑所得」として取り扱われます。課税対象者になると思われる会員の方は各自において最寄りの税務署に申告が必要となります。

センターでは、令和六年分の配分金の合計額を証明する『配分金支払証明書』を、今年請負でお仕事をされた方全員に郵送にて交付いたしました。届いた証明書を、確定申告等でご利用ください。

また、「派遣事業」で就業して得た『賃金』は、「給与収入」として取り扱われます。山形県シルバー人材センター連合会より源泉徴収票が送付されます。

『配分金』については、租税特別措置法第二十七条の「家内労働特別例」により五十五万円の控除が認められております。配分金以外の収入がない場合には、基礎控除四十八万円を含めて百三万円まで所得税が課税されないこととなります。配分金の他に給与収入がある場合は、五十五万円から給与所得を控除した残額が特例で控除できる金額です。また、公的年金を受給している場

URL: <https://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagata@sjc.ne.jp

合は配分金とは別に所得控除が受けられます。公的年金に係る雑所得の算出は上記速算表のとおりです。なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の申告については、別途書類の提出が必要な場合がありますので、税務署にお尋ねください。

公的年金に係る雑所得の計算

受給者の区分	その年中の公的年金等の収入金額(A)	公的年金等に係る雑所得の金額
年齢65歳未満の人 (昭和35年1月2日以後に生まれた人)	60万円以下	0円
	60万円超130万円未満	(A) - 60万円
	130万円超410万円未満	(A) × 0.75 - 27万5,000円
	410万円超770万円未満	(A) × 0.85 - 68万5,000円
	770万円超1,000万円未満	(A) × 0.95 - 145万5,000円
	1,000万円以上	(A) - 195万5,000円
年齢65歳以上の人 (昭和35年1月1日以前に生まれた人)	110万円以下	0円
	110万円超330万円未満	(A) - 110万円
	330万円超410万円未満	(A) × 0.75 - 27万5,000円
	410万円超770万円未満	(A) × 0.85 - 68万5,000円
	770万円超1,000万円未満	(A) × 0.95 - 145万5,000円
	1,000万円以上	(A) - 195万5,000円

お知らせとお願ひ

配分金支払日

- 一月二十日(月)
- 二月二十日(木)
- 三月十九日(水)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いいたします。

- 一月七日(火) 十六日(木)
- 二月七日(金) 十三日(木)
- 三月四日(火) 十一日(火)
- 三月十八日(火)
- 二月十二日(水)
- 三月十二日(水)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

一月八日(水)
二月十二日(水)
三月十二日(水)
※就業相談の受付は午後一時十五分からです。予約等はできませんのでご了承ください。

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

第七地区

山田 重孝さん(七十八歳)

金井地区

伊沢 進さん(八十四歳)

金井地区

松崎 道正さん(七十五歳)

鈴川一地区

神保正一郎さん(八十二歳)



あしがき

「無常」世のすべてのものは、移り変わり、いつまでも同じではない。鎌倉時代の災害、飢饉、騒動の時代に執筆された鴨長明の随筆「方丈記」。

昨年から国内外で戦争、内乱、政治の転換が起こり、今年にはさらに、国内に波及することが想定される。

「ゆく河の流れは、絶えずして、しかももとの水にあらず」この世の中を生活するには、常に変化に対応できる精神と身体が必要であると説いている。

まずは、心豊かにして、孤独で寂しい暮らしを無くす事。一辺が一丈(約三メートル)の質素な住まいに、一人暮らし。琵琶と和歌は、友人隣人の老若男女と日々お付き合いをしている。

現役当時のシミュレーションは、これからは「国際化、情報化、高齢化の時代である」と盛んに言われていた。そして、政策に反映されて実現されてきた。

しかし「少子化」が抜けていた。「無常」の言葉が届かなかった…。

(S・K)